

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

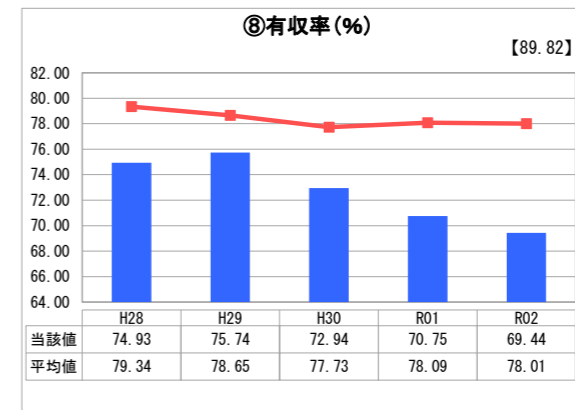
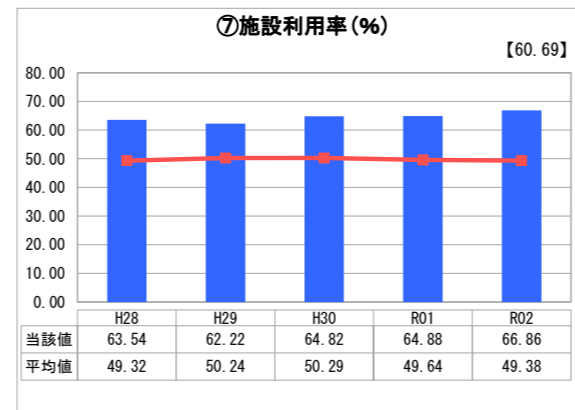
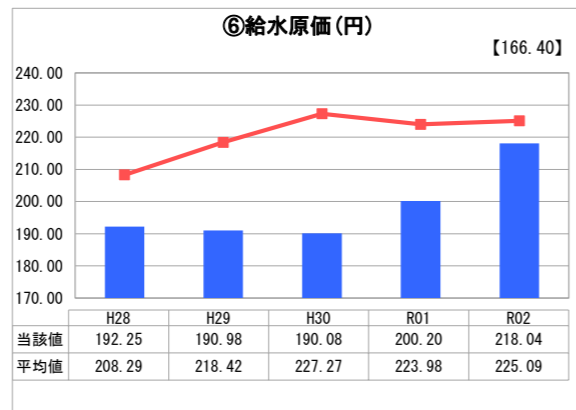
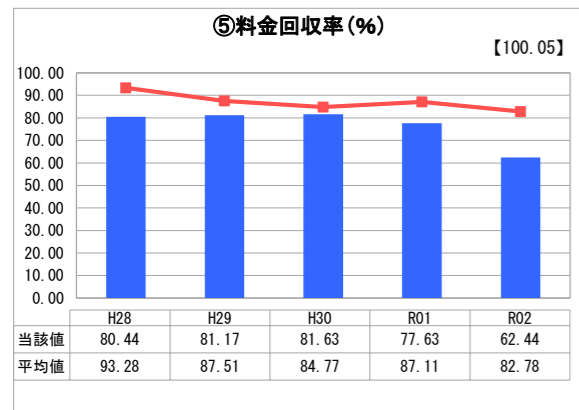
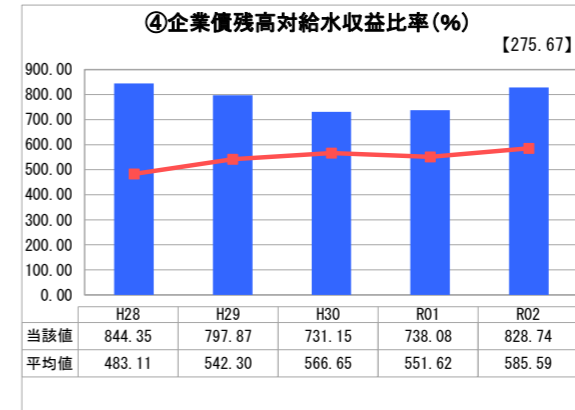
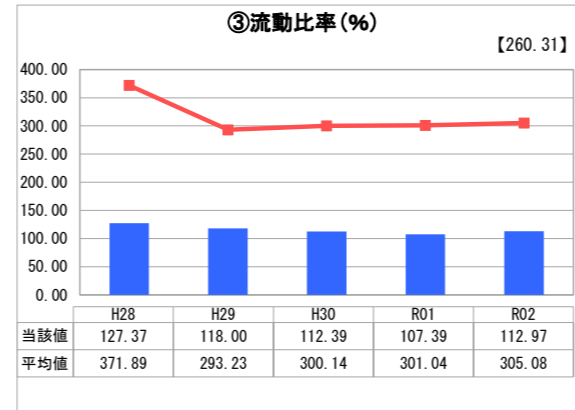
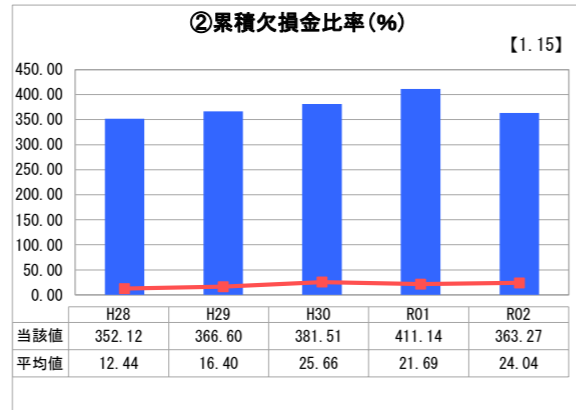
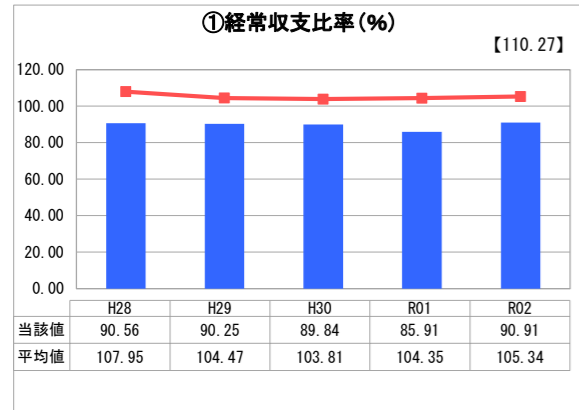
三重県 御浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	11.94	96.75	3,220	

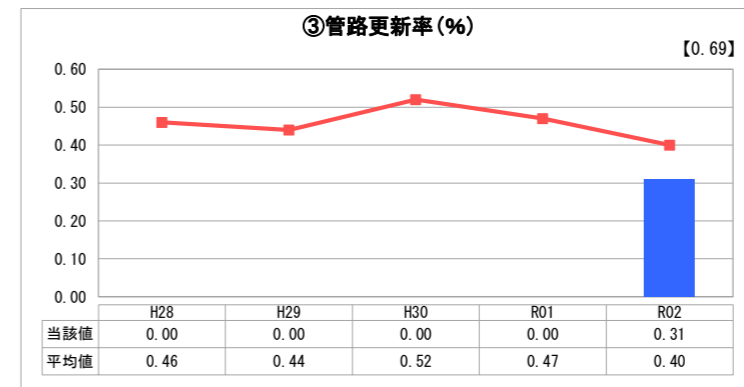
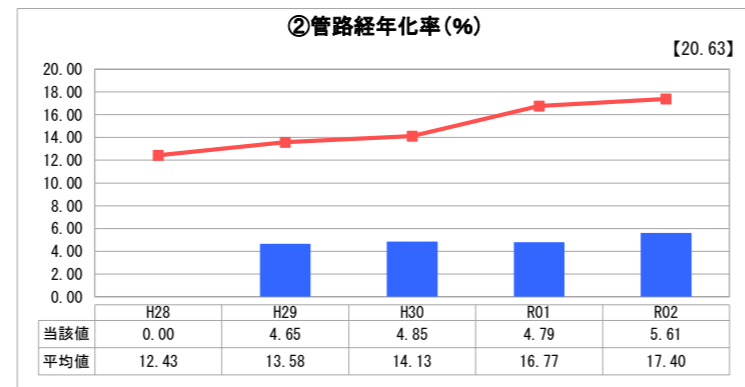
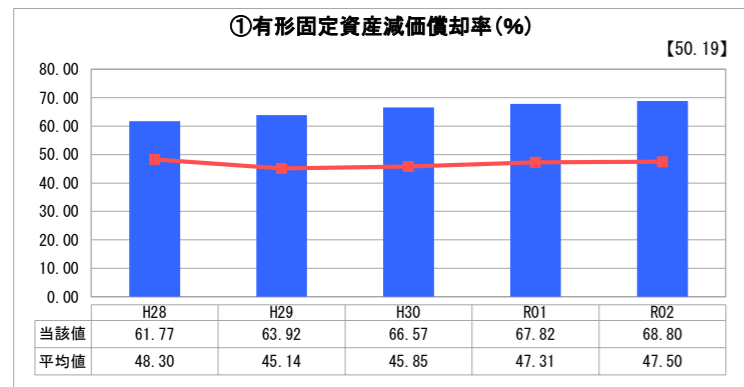
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,355	88.13	94.80
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,010	65.10	123.04

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和2年度全国平均	

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

企業債残高対給水収益比率は、H30年度までは、年々減少はしていたが、R元年度以降は施設の更新を実施、計画しているため上昇傾向に転じ、財政を圧迫している。  
 料金回収率の大幅な減少については、令和2年度において新型コロナウイルス感染症対応による水道料金を一部減免したことにより、有収水量が減少し、給水原価が大幅に上昇したことが影響している。  
 流動比率においては、令和2年度より料金値上げを行ったが、施設更新に向けての人員増による人件費、施設の老朽化による修繕費等の増により現金支出が増え、横ばいとなっている。今後も施設の老朽化による修繕費が嵩めば、財政の硬直化や予定している施設更新が困難となり、更なる資金収支改善策を検討していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

今後、法定耐用年数を経過する管路等の施設や設備の増加が見込まれる。実耐用年数で策定したアセットマネジメント（資産管理計画）、施設等更新計画と資金収支計画を作成し、中長期の効率的な施設の更新と財源確保を進めていく必要がある。

### 全体総括

令和2年度より料金値上げを行ったが、耐用年数を超えた更新を迎える施設が今後増加することから、資金収支に余裕がない状況が今後も続く。耐用年数を超過する施設等については、少しでも施設等を長寿命化できるようにし、支出を抑制しながら更新を図ることに加え、更新が必要な施設等については、人員と資金の観点から、事業量を平準化し更新する必要がある。